

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	IT、デジタルクリエイター、介護、保育、理美容、デザイン、愛犬トリマー、栄養調理等職業教育講座		
法人名	学校法人 電子学園		
学校名	日本電子専門学校		
代表者	理事長 多 忠和	担当者 連絡先	寺脇 保(てらわき たもつ) TEL 03-3363-2985 (直通)

1. 事業の概要

IT、デジタルクリエイター、介護、保育、理美容、デザイン、愛犬トリマー、栄養調理等職業教育講座の実施。高等学校と協力し、生徒の職業意識を早期に醸成させるため、職業適性試験を含めたキャリアガイダンス講座を受講する。その後、各専修学校においてIT、デジタルクリエイター、介護、保育、理美容、栄養調理等の職業体験講座を受講する。更に企業等に出向き、職場見学・職場体感を通して、職業観を養う。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

当初計画では、7専修学校が協力し、6高等学校の1、2、3年次生400名を対象とする職業意識の早期醸成を図ることとした。実際には15専修学校が協力し、生徒の希望する木目細かい講座&職場見学が実現できた。参加高校数は6校の予定が4校となったが、参加生徒数は予定の1.5倍以上の650名の参加を得ることが出来た。またアンケートにあるように、キャリアガイダンス講座を含めて、職業体験講座&職場見学も受講者にとって有意義な成果を得た。

②事業により得られた成果

(1)キャリアガイダンス講座

本講座は次の4つのアクション、講演(キャリアのはなし)、グループワークⅠ(職業の魅力を見つけよう)、グループワークⅡ(職種情報を分けあおう)、職業適性検査で構成した。

(2)職業体験講座&職場見学

ゲーム機の製作、調理実習体験、グラフィックデザイナー・イラストレーター体験、幼稚園教諭・保育士体験、トリマー・動物看護体験、美容師の技術体験、福祉の仕事&手話体験、レコーディング体験、ロビンエンジン分解組立体験、自動車整備体験、ファッション業界入門など15校の専修学校26コースで職業体験講座が実施された。また衛生上の理由で実施しない調理実習以外のすべての講座で職場体験が実施された。

③今後の活用

参加の高等学校では、1年次から3年次を通して職業啓発授業を実施しており、1年次生を対象とした学校では2年次以降も生徒にこのような職業体験のチャンスを取り入れ、2年次生を対象とした学校では3年次の進路指導に役立てたい意向である。専修学校でも各校実施の体験講座に自主参加を促し、高校生の進路選択に寄与する意向である。

④次年度以降における課題・展開

参加の専修学校は各校での正規な授業を稼働させながら、専修学校・高等学校連携に大変なご尽力とご協力を頂いている。しかし、例年のことではあるが、高等学校の年間行事が既に決まった後に、専修学校と連携して、計画・実施する事業であるため、実施プランの構築に多大な労力が必要となる。年間計画策定前の計画構築が望まれる。

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

(1)キャリアガイダンス講座

- ・都立高等学校(8月1日):日本電子専門学校にて、2年次生男女合計27名が受講した。
- ・埼玉県私立高等学校(9月23日):自校校内にて、1年次生男子のみ76名が受講した。
- ・都立高等学校(12月13日、12月14日):日本電子専門学校にて、13日63名、14日71名、2年次生男女合計134名が受講した。
- ・埼玉県立高等学校(10月25日):自校校内にて、2年次生男女150名が講演(キャリアのはなし)を受講した。
同校(12月17日):自校校内にて、2年次生男女44名がグループワークを受講した。

* 受講者からの多数意見を以下に示す。

- ◆ 自分が何を目指すべきなのか少しは分かった。
- ◆ これからの進路のために役立つガイダンスでした。これから進路に役立てて行きたいです。
- ◆ 自分の興味が、以前より明確になった。
- ◆ 職業や自分を見つめ直すきっかけとなった。

(2)職業体験講座&職場見学

- ・都立高等学校(12月19日):専修学校7校、7コースで合計101名が受講した。
- ・埼玉県立高等学校(1月17日):専修学校10校、10コースで合計113名が受講した。
- ・埼玉県私立高等学校(2月21日):専修学校13校、24コースで合計350名が受講した。
- ・都立高等学校(3月14日):専修学校7校、7コースで合計86名が受講した。
- * 受講者からは、職業体験講座が進路を考えるのに役立った(91.5%)、職場見学が役に立った(77.6%)等の意見を得た。

②その他

- ・キャリアガイダンス講座ではCSM講座の講師、船山世界氏の教材工夫が見事、受講者の高校生の気持ちを盛り上げ、高校生が描く職種に関するイメージを様々な角度で意見交換が出来、職業や自分を見つめ直す機会になった。
- ・年初計画では7つの専修学校が実習設備、教員等、自校のリソースを持ち寄って、高校生の職業意識の醸成に役立てようと計画したが、高等学校サイドでの再三に渡る受講講座希望アンケート調査の結果、受講生の希望に即して、15の専修学校、全26コースを開講することとなった。結果、受講生にとっては希望の職業体験講座の受講が可能になり、満足度の高い事業を行うことが出来た。